

第 16 回 印刷産業環境優良工場表彰

総評

印刷産業環境優良工場表彰は、今回第 16 回目を迎え、小規模事業所振興部門 27 工場を含め合計 58 工場から応募があった。全体の傾向は、応募各工場の環境活動レベルは総じて高く、過去に応募しその後も継続して活動している過去受賞工場や、環境マネジメントシステムが確立しているグリーンプリンティング認定取得工場が総合的に見て評価が高かったものの、環境維持・改善に群を抜く活動が認められる工場が見当たらず、経済産業省大臣賞推薦は該当工場なしとなった。

フロン排出抑制法など新たな措置が必要となった環境関連の法制化への対応をはじめ、掲示板活用による全員参加の活動や各指標の見える化、「VOC 警報器」によるばく露低減など受賞工場が行っているこれらの環境関連活動は、業界内で水平展開できるモデル事例として、今後の活用が望まれる。

経済産業省 商務情報政策局長賞

一般部門

株式会社廣済堂 さいたま工場



代表者名 代表取締役社長 浅野 健
工場所在地 埼玉県さいたま市
所属団体 印刷工業会

推薦理由

本工場は、1967年7月に操業開始した埼玉県さいたま市にある、書籍、文庫本、商業印刷等を手がける大手のオフセット印刷工場である。環境マネジメント体制が構築され、省エネを始めとした環境関連施策が充実し、PDCA サイクルによるマネジメントレベルの向上が図られている。

電力のデマンド管理、高効率モーターの採用、LED 照明のほか夜間蓄熱、冷水の再利用など多彩な施策を講じている。その他フロン排出抑制法の対象機器が 121 台と多数あるが、点検記録を作成し管理している。化学物質の取扱いでは、化学物質のリスクアセスメントを実施し、さらに「VOC 警報器」を導入し、作業者の個人ばく露低減を進めている。

GP 認定工場、ISO14001、FSC 認証など環境関連のマネジメントシステムを取得し、温暖化対策の継続的な活動が定着し、さらに工場の生産効率向上、企業収益の改善に結びつけている。

これらのことから総合的に判断して、経済産業省商務情報政策局長賞に推薦するものである。

小規模事業所振興部門

株式会社太陽堂印刷所 第一工場



代表者名 代表取締役 日暮 秀一
工場所在地 千葉県千葉市
所属団体 日本フォーム印刷工業連合会・全日本印刷工業組合連合会

推薦理由

本工場は、1990年8月に操業開始した千葉県千葉市緑区の印刷工業団地にある、ビジネスフォーム、商業印刷物、データ出力サービス等の委託業務を手掛ける、正規従業員 23 名の小規模印刷事業所である。過去、第 5 回奨励賞、第 12 回会長賞と受賞ランクが向上している。

工場トップライトからの光による照明等省エネ化、廃棄物分別等による 99% のリサイクル率、ノン VOC・UV インキの使用のほか、「VOC 警報器」を 6 台導入し、また同警報器活用については啓発ビデオを作成し利用徹底をはかるなど、活発な活動を進めている。5S 活動やパトロールチェックのほか、GP 認定、ISO14001、CSR 認証も取得し、これらのシステムを利用した目標管理・実績管理を行い、経営者の環境への強い意志のもと、活動のスパイラルアップが図られている。

これらのことから総合的に判断して、経済産業省商務情報政策局長賞に推薦するものである。

一般社団法人日本印刷産業連合会 会長賞

一般部門

株式会社写真化学メディアカンパニー 草津事業所

代表者名 取締役 カンパニー社長 堀江 正太郎
工場所在地 滋賀県草津市
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

推薦理由

本工場は、1991年11月に操業開始した滋賀県草津市にある、製品カタログ、パンフレット等の商業印刷物を手掛けるオフセット印刷工場である。水なし印刷、環境保護印刷（クリオネマーク）やFSC森林認証のほか、KES・環境マネジメント（京都方式）を取得している。作業工程のデジタル化をいち早く進めたほか、LEDによる省エネ照明等消費電力削減や廃インキの削減、分別回収による資源の有効活用、濃縮装置導入による製版廃液の削減等で大きな効果を挙げている。その環境活動は意欲的かつ積極的であり、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。



トッパン・フォームズ西日本株式会社 九州工場

代表者名 代表取締役社長 副島 卓司
工場所在地 熊本県玉名市
所属団体 日本フォーム印刷工業連合会

推薦理由

本工場は、1972年4月に操業開始した熊本県玉名市にある、帳票等各種ビジネスフォームの製造およびデータプリントサービスを提供する印刷工場である。インバータ、デマンドコントロールによる省エネルギーの展開や、遮光ガラス設置により熱伝導率20%削減等の効果が上がっている。また廃棄物処理では、電子マニファクトに全面移行し、運用の徹底が図られているほか、ISO14001を取得し、目標・実績管理がシステム化され、さらに小集団活動の充実等環境管理活動が活発である。これらの活動から、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。



信和産業株式会社 本社工場

代表者名 代表取締役社長 村野 友信
工場所在地 千葉県八千代市
所属団体 全国グラビア協同組合連合会

推薦理由

本工場は、2009年11月に操業開始した千葉県八千代市にある、正規従業員104名の軟包装材等の印刷、製袋加工を行うグラビア印刷工場である。VOC排出抑制のためノンソルベントラミネート機やVOC燃焼装置の導入、浅版化によるインキ使用量削減など、環境に配慮した活動を展開している。毎月報告会を実施する小集団活動や、充実した5Sパトロールの内容など、活発な活動が展開している。2014年にグリーンプリンティング認定を取得し、工場環境対策、広域的環境対策等同業種の他の工場に比較して高水準であることから、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。



株式会社精工 つくば工場

代表者名 代表取締役社長 林 正規
工場所在地 茨城県土浦市
所属団体 全国グラビア協同組合連合会

推薦理由



本工場は、2007年4月に操業開始した茨城県土浦市にある、軟包装グラビア印刷工場である。正規従業員128名。VOC排出削減のため、ノン溶剤トラミネート機やVOC処理装置の導入のほか、太陽光パネルの設置、照明機器のLED化のほか、カラーマッチングシステムによるインキ削減・再利用にも取り組んでいる。またフィルム薄肉化等の得意先への提案による3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進などの成果にもつなげている。これらの活動から、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

小規模事業所振興部門

株式会社大和紙工業 本社工場

代表者名 代表取締役社長 小原 隆
工場所在地 埼玉県和光市
所属団体 全日本光沢化工紙協同組合連合会

推薦理由



本工場は、1994年11月に操業開始した埼玉県和光市にある出版物・紙製品、パッケージ等の表面加工・グラビア印刷加工を行う小規模事業所である。2009年にグリーンプリンティング工場認定を取得し、省エネ、省資源、廃棄物の削減および環境配慮製品の得意先への提案など、継続した活動を実施している。電力のデマンド管理、冷却水循環使用による水道水の削減のほか、5Sに安全（= Safety）を加えた6S活動を展開し、コピー紙の削減、エアコン、照明管理などを進めている。工場環境対策等同業種の他の工場に比較して高水準であり、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

一般社団法人日本印刷産業連合会 奨励賞

一般部門

株式会社一九堂印刷所 東京工場

代表者名 代表取締役 岩尾 純一
工場所在地 東京都江東区
所属団体 印刷工業会



石川特殊特急製本株式会社 MID CENTER

代表者名 代表取締役社長 石川 彰一
工場所在地 大阪府大阪市
所属団体 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 全日本印刷工業組合連合会



一般社団法人日本印刷産業連合会 奨励賞

一般部門

株式会社セントラルプロフィックス 豊洲工場

代表者名 代表取締役 田島 義之
工場所在地 東京都江東区
所属団体 日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会
全日本印刷工業組合連合会



北海シーリング株式会社 工場

代表者名 代表取締役社長 有原 常貴
工場所在地 北海道札幌市
所属団体 全日本シール印刷協同組合連合会



小規模事業所振興部門

秀明印刷株式会社



代表者名 代表取締役社長
金子 義徳
工場所在地 東京都大田区
所属団体 全日本印刷工業
組合連合会

株式会社美生社



代表者名 代表取締役
山本 素之
工場所在地 大阪府大阪市
所属団体 全日本印刷工業
組合連合会

株式会社大熊製本

代表者名 代表取締役 大熊 茂樹
工場所在地 東京都足立区
所属団体 全日本製本工業組合連合会



推薦理由

本7工場は、環境改善に努力を払うとともにその効果が認められ、特に活動に特色があることから、それぞれの業種の特殊性や企業規模を鑑み、今後のさらなる環境改善を期待し、一般社団法人日本印刷産業連合会環境優良工場奨励賞に推薦するものである。